

令和5年度 3学年進路講演会Ⅱ

今後の進路指導について

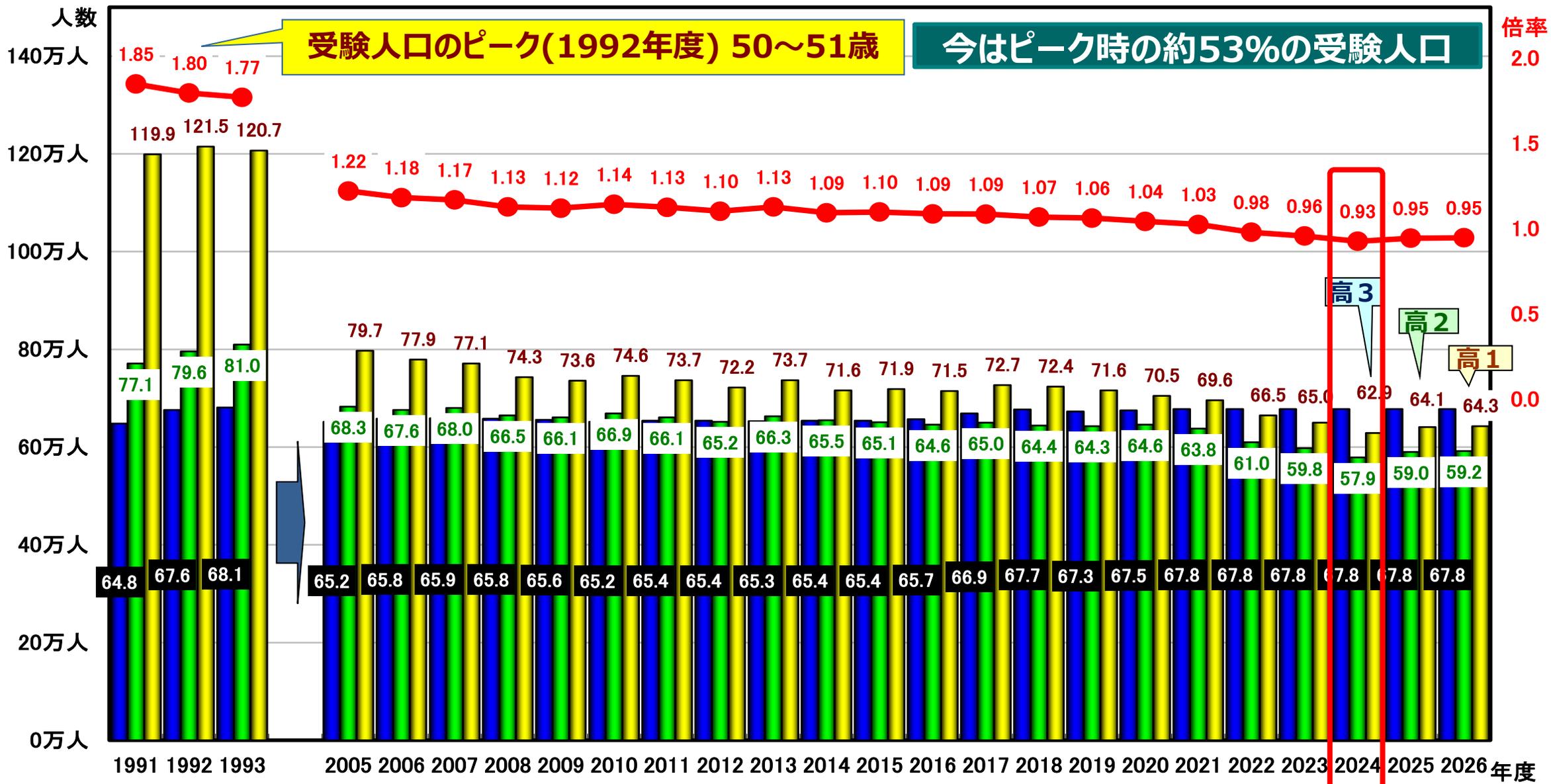
群馬県立太田女子高等学校
進路指導部 今井 輝夫

本日の内容

1 復習

2 今後について

3 まとめ



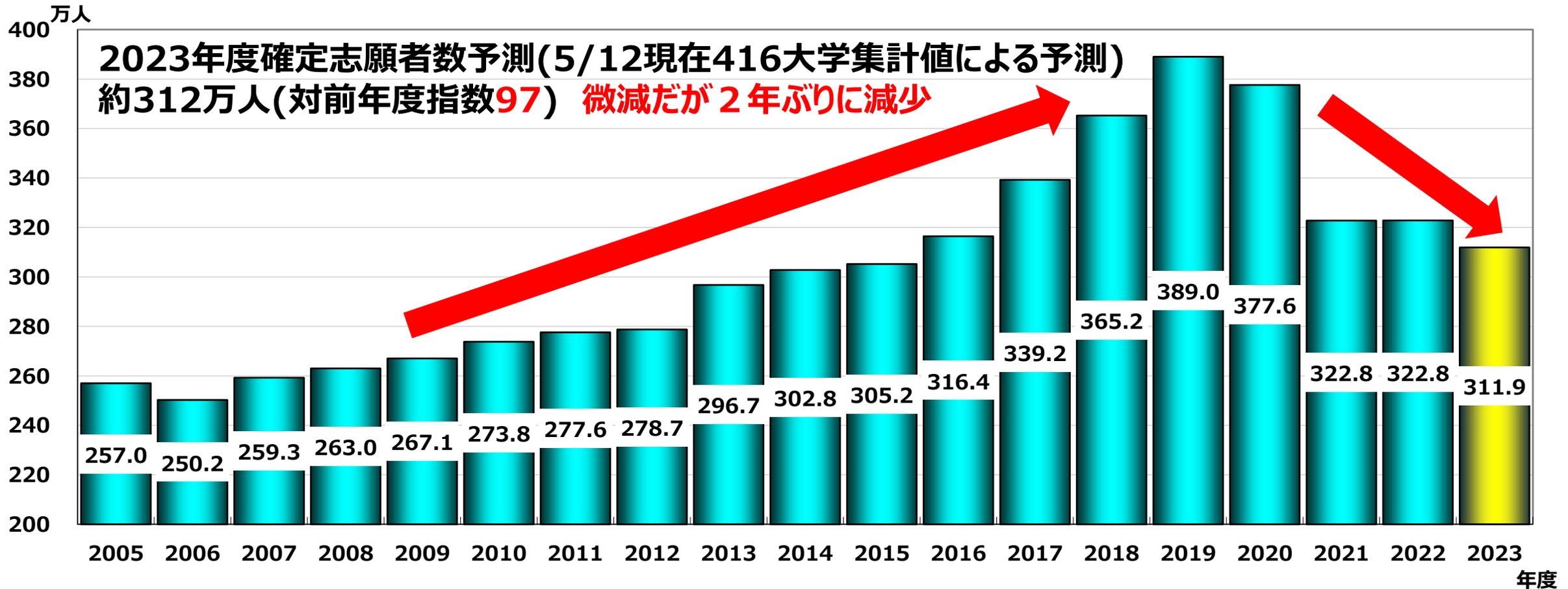
※2023年度以降は駿台推定値

■ 入学定員

■ 入学者数

■ 受験人口

● 倍率(受験人口/入学定員)



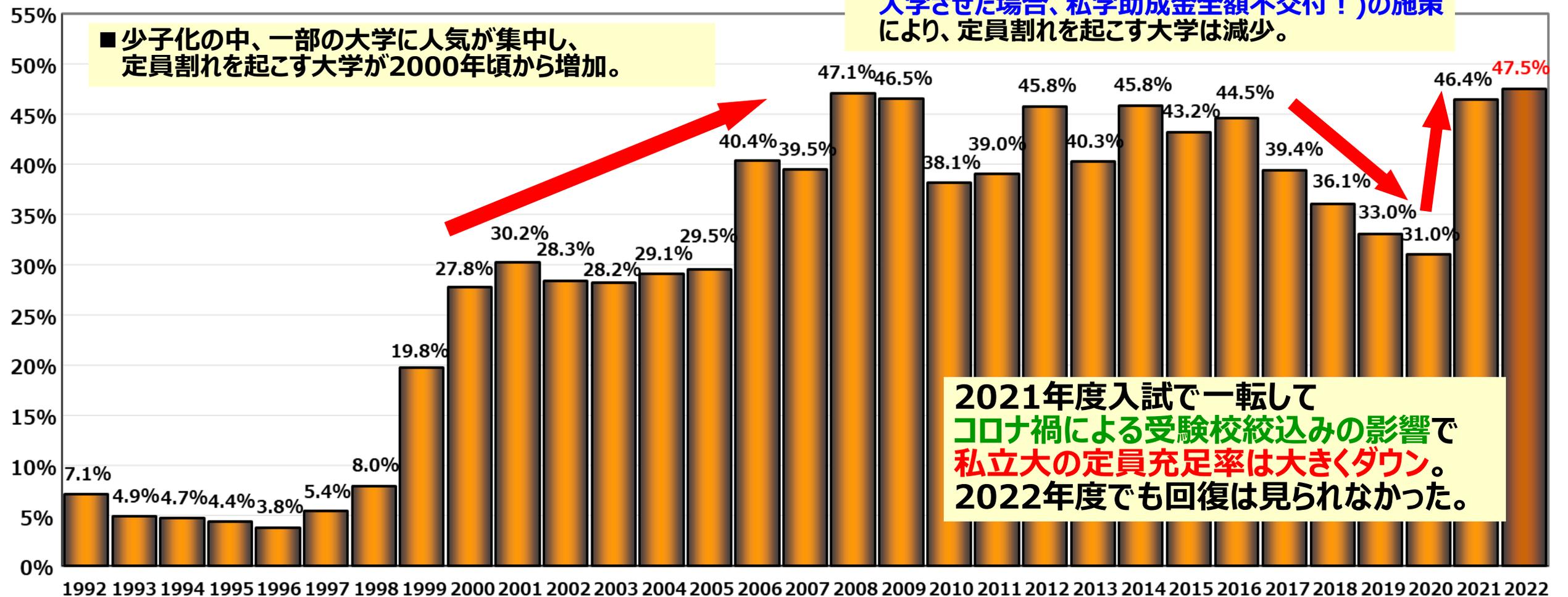
- 微減要因
- ① 18歳人口減少および浪人発生数減少に伴う受験人口全体の縮小
 - ② 中堅大学における年内入試(学校推薦型選抜、総合型選抜)へのシフト
 - ③ 私立大一般選抜全体の競争緩和による1人あたりの併願校数減少
 - ④ 地方の厳しい経済状況を反映した地元での国公立大志向の高まり

※2022年度までは文部科学省発表の最終発表数値、2023年度は駿台による推定値。

定員割れした大学の割合の推移

■ 2017年度入試以降、
大規模大学の入学定員の厳格化(定員を超過して
入学させた場合、私学助成金全額不交付!)の施策
により、定員割れを起こす大学は減少。

■ 少子化の中、一部の大学に人気集中し、
定員割れを起こす大学が2000年頃から増加。



2021年度入試で一転して
コロナ禍による受験校絞込みの影響で
私立大の定員充足率は大きくダウン。
2022年度でも回復は見られなかった。

■大規模大学の入学定員の厳格化の運用の見直し■

2023年度入試より

入学定員(1年生)の充足ではなく、収容定員(1年～4年生までの合計)の充足率での運用に変更。

理由：過度な補欠合格者、追加合格者の発表による混乱を緩和するため。

6 乗り越えた先には何がある？

■ 2万人の再受験生？

直面する「**困難**」から「**安易な方向**」に逃げて、
結局は、「**大きな回り道**」をしていることの**ムダ**！
2022年度も減少傾向だが、それでも**1.9万人**！

■ 大学・短大志願状況（※文部科学省集計データより）

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
(A) 大学・短大志願者数	71.5万人	72.7万人	72.4万人	71.6万人	70.5万人	69.6万人
(B) 大学・短大入学者数	64.6万人	65.0万人	64.4万人	64.3万人	64.6万人	63.8万人
※大学不合格者数 (C) = (A) - (B)	6.9万人	7.7万人	8.0万人	7.3万人	5.9万人	5.8万人

■ 翌年度大学入学共通テスト(旧センター試験)志願者数(※大学入試センター発表より)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
(D) 純粋な既卒生志願者数	9.9万人	10.4万人	10.7万人	10.0万人	8.1万人	7.7万人
※再受験生 (D) - (C)	3.0万人	2.7万人	2.7万人	2.7万人	2.2万人	1.9万人

偏差値別退学率

偏差値	私立	国公立	合計
39	17.2		17.2
40-44	16.9		16.9
45-49	11.6	6.7	11.5
50-54	8.0	3.8	6.8
55-59	6.0	3.6	5.0
60-64	3.4	1.6	2.9
65-69	3.2	2.4	3.0
70以上	3.0	1.5	2.2
平均	11.0	2.9	9.4

資料出所：清水（2013）より引用 偏差値はベネッセによる。
退学率は2008年度入学から卒業（2012年）までの期間

独立行政法人 労働政策研究・研修機構「大学等中退者の就労と意識に関する研究」より

●偏差値の低い大学ほど
中退率が高い

●偏差値44以下の大学の
中退率が特に高い

●平均値で比較しても中退率は
私立大学で11%、
国公立大学で2.9%と
顕著な違いがある

1 復習

- 不本意入学をしない、させない
- 受験生も志願者数も既卒生も少ない2024年度入試は最大のチャンスでもある
- 受験をしないと合格はない

2 今後について

- ・志望校、受験校を明確にする
 - 国公立大・・・志望校群を選定
 - 私立大学・・・受験校を選定

この時点でホテル等の予約を検討する
場合もあるようですが焦らず慌てず

2 今後について

- ・**志望大学の受験方式を確認
総合型選抜、学校推薦型選抜、
一般選抜（方式や日程）**

**受験資格等の確認
資格試験等の活用状況**

2 今後について

- ・**総合型選抜、学校推薦型選抜の
出願について**

**別紙の日程のとおり行いますので
ご確認ください。**

※担任とよく相談をしてください。

2 今後について

- **第一志望大学に合格するために、この夏休みやるべき事を明確にする**
- **成績はこれから伸びる（伸ばす）大切なのは努力を継続すること**

2 今後について

・共通テスト出願

7月中旬 配慮申請等 (HP)

9月上旬 願書配布

学校にて説明会実施

9月中旬 願書提出 (学校)

2 今後について

- **10月は模試月間
気力と体力が必要**
- **12/11～ 三者面談
私立大学は確定→出願
国公立大学は志望群の確認**

3 まとめ

- ・受験に正解はありません。だからこそ生徒と保護者、教職員が協力をして立ち向かっていくものだと思っています。
- ・受験は大変ですが、人として成長する絶好の機会です。その機会をみんなで大切にしましょう。

ご静聴ありがとうございました



令和6年度入試「学校推薦型選抜」「総合型選抜」について

群馬県立太田女子高校 進路指導部

【学校推薦型選抜入試】 ※原則書類の提出は朝担任へ提出する

1. 日程

- ① 「学校推薦型選抜（指定校）一覧」を教室に掲示 8月30日（水）朝のSHR
- ② 学校推薦型選抜（指定校）一次申込み受付期間 9月4日（月）～9月8日（金）
生徒：「申込書」→ 担任 → 学年主任（「一覧表」作成）
- ③ 学校推薦型選抜（公募）一次申込み受付期間 9月12日（火）～9月16日（土）
生徒：「申込書」→ 担任 → 学年主任（「一覧表」作成）
- ④ 第1回推薦選考会議 9月21日（木）16:00～校長室
- ⑤ 第1回推薦内定者への指導 9月25日（月）12:15～進路資料室
- ⑥ 出願指導、推薦書・調査書作成 10月上旬～
生徒：「誓約書」を先に提出 → 担任 → 学年主任 ※ その他の書類は担任と作成
- ⑦ 面接指導、小論文指導 10月中旬～
- ⑧ 合格者への指導 12月中旬以降合格が決定次第

※ 公募制で推薦枠のある大学（筑波大、群馬大、金沢大、埼玉大等）について

希望者が出た時点で朝会で確認後全クラスに周知し、潜在的な希望者の出願漏れのないようにする。

※ 上記日程以降は、随時担任に申込書を提出する。【10月3日（火）二次申込み締め切り】

学校推薦型選抜（指定校）については二次締め切りで終了

原則出願3週間前までに「申込書」を提出する。年内出願は10月10日（火）申請締切とし、年明け出願については12月上旬とする。

2. 各選抜を希望するうえでの留意事項

- ① 「申込書」は保護者承認印が必ず必要である。
申込書を提出する前に必ず生徒と担任で募集要項を確認する。
- ② 申込者は当該大学・学部・学科を第一志望とし、「申込書」を提出した者は、校内選考で出願が認められた場合、「誓約書」を提出した上で必ず受験し、合格した後は必ず入学しなければならない。合格後は当該大学・学部・学科以外に受験をすることはできない。
なお、大学入学共通テストは受験すること。
- ③ 受験後は、合否にかかわらず「受験報告書」を必ず提出すること。
- ④ 合格が決まり大学入学後は、学業に励み、しっかりとした大学生活を送ること。大学では入学者の追跡調査を行っています。今後の指定校等の存続に関わることを認識する。

【総合型選抜入試】 ※原則書類の提出は朝担任へ提出する

- ① 事前に保護者、担任との相談のうえ原則出願3週間前までに「申込書」を提出する。
- ② 当該大学・学部・学科を第一志望であることが出願条件である。「誓約書」を提出した上で、合格した後は必ず入学しなければならない。ただし、併願可能な総合型選抜についてはその限りではない。受験後は「受験報告書」を必ず提出すること。なお、東北大AOのように総合型選抜でも学校長の承認（公印）を必要とする場合は学校推薦型と同様の手続きを行う。